

令和3年度 今治市障害者福祉センターのぞみ苑指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市障害者福祉センターのぞみ苑
所在地	今治市石井町4丁目3番53号
指定管理者	<p>名称 社会福祉法人今治福祉施設協会</p> <p>代表者 理事長 胡井 裕志</p> <p>住所 今治市南宝来町1丁目9番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL: 0898-36-1527</p> <p>E-mail: syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	<p>条例・規則・仕様書などの指定管理業務に関する内容を全職員に周知したうえで業務を行っています。施設の目的や基本方針についても定例職員会議等で、職員に周知徹底をしております。利用者に対しては随時、掲示や窓口での口頭説明を行っております。</p>	A	<p>職員は施設の設置目的や管理運営の基本方針を十分理解し、利用者への周知も図られており、概ね適切な運営が行われています。</p>
利用状況	B	<p>通所作業生には、各種教養講座や作業訓練に取組み、充実した社会生活を送ることができるよう指導支援に努めました。趣味教養講座に参加する高齢者や一般住民には、作品展発表会を通じて趣味を育て、生きがいや教養を高め、障がい者と交流することで障がいに対する理解を深められるよう配慮しました。講座施設管理者としては、既設の講座は、年度を通じて事業の円滑な実施を図ることにより利用者サービスの増進に努めることができたと感じています。しかし、障がい者の参加しやすい新しい講座の開設に至らなかったため、引き続き通所作業生も含めて利用しやすい講座を検討していきます。また、利用者の固定化、高齢化の傾向になり、より広い層の利用者の確保が必要であるため相談支援事業所今ねっつを通して、法人内、外の在宅の利用希望者の発掘や、今治特別支援学校との連携を強め卒業見込み者、卒業生の利用を図っていきたく考えています。</p>	B	<p>通所作業生の延利用人数は昨年度並みとなっていますが、趣味教養講座の休講により全体の延利用人数が減少しています。</p> <p>趣味教養講座は一般利用も可能なため、障がいのあるなしにかかわらず交流の機会となっています。開講を楽しみにされている方々もいらっしゃいますが、利用者の安全安心に留意した施設運営をお願いします。</p>
事業収支	A	<p>支出は、対収入比97.46%(昨年度99.03%)に留め、健全財政の施設運営に努めました。小規模作業所に係る収支については製品の品質を低下させないよう留意しました。また、製品の販売に努め、作業生の収入確保を図りました。施設の維持運営については、経費のコスト削減を図りながら利用者サービスの質を落とさないよう配慮しつつ施設の目的達成のため、安定的な健全運営を目指しました。</p>	A	<p>作業料収入は、施設外での販売の機会が減ったものの計画よりも増加しています。必要に応じた修繕、備品購入も行われており、概ね健全な財政運営ができていますので、引き続き適切な運営をお願いします。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	利用者への適正なサービス、処遇対応などに関して、毎日の朝礼、終礼を活用し職員の情報共有を図りました。また、施設内研修、職員会は全職員で取り組み、技術態度の向上、知識の共有に努めました。作業生に対しては各種の作業を通し、より良い社会生活が送れるよう個別指導、支援を図るとともに、保護者との連絡を密にし、作業生が通苑しやすい環境作りに努めました。また、講座受講生を含む全利用者に対して、アンケート調査等を通じてニーズの把握をし、快適な利用環境の確保に努めました。なお、労働環境に配慮し、障がい者の常用雇用を継続しました。	B	年度の途中で指導員が交代していますが、計画どおりに人員の確保ができています。また組織内研修は適切に実施されていますが、派遣研修は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり計画どおりの実施ができていません。リモートでの参加等検討の必要があります。
管理運営業務	A	仕様書に定められた基準に準拠して業務を実施しました。施設は昭和57年4月開設以来40年が経過し、修繕を必要とする箇所が散見されるようになりました。今後とも大改修に至らないよう早めの対応をいたします。事務処理の迅速適正化に取り組み、健全経営を確保して利用者の快適環境の確保に努めます。消防点検、空調点検、廃棄物処理に関しては専門業者に委託しています。	A	仕様書に定められた基準に従って適切に業務が実施できております。作業において、食品や、やや複雑な機械を扱うことがありますので、安全点検にはより一層の注意をお願いします。また専門的な管理が必要な消防点検、空調点検、廃棄物処理については専門業者による実施ができております。
利用業務	B	利用業務については、仕様書に定められた基準に従って実施しました。利用促進業務では、施設概要に関するパンフレットを作成し、配布しました。同時にホームページへも掲載し、外部機関・利用希望者などにのぞみ苑の情報を提供できたと考えます。また、更生相談会が0人であったのは、市内に相談支援事業所が数か所あり、相談については、相談支援事業を利用する形になってきているためだと考えます。また、講座利用人数が計画人数とかい離しているのは、講座によっては、定員を充たしていないことによるものであります。なお、隣接施設であるひよこ園等関連機関と連携を図りながら今後も利用者ニーズを的確にとらえ、市民に親しまれる施設運営を目指し、利用者サービスの向上に努めます。	B	利用調整、受付業務は適切に処理されています。報道等マスコミの活用については積極的ではありませんが、ホームページと市の広報誌の活用で趣味教養講座の定員はおおむね満たしている状況です。ただ、多くの方に施設の状況や活動を知ってもらうことも必要ですので、今後も周知方法等については考え続けてください。
その他業務	A	危機管理、事故、火災、個人情報保護に関する対応マニュアルを整備し、年度初めに職員研修を開催して、職員に意識の徹底を図りました。緊急避難時の安全を確保するため、駐輪場を確保して避難通路上の自転車バイク駐輪を禁止しています。また、火災や地震による災害を想定して、利用者、職員全員で消火、避難訓練を実施するとともに、万一の時に適切な救急救命措置ができるよう積極的に研修訓練に取り組んでいます。	A	各種マニュアルが整備され、職員へ周知されており、危機管理意識は高く維持されています。火災や地震への避難訓練も実施され、避難経路の確保も適切にできています。
修繕業務	A	施設開設後40年が経過し老朽化している箇所が多いが、良好な状態を保っています。快適な利用環境を提供するうえで安全に係る箇所の修繕については注意を払い、速やかに修繕するよう心がけています。その他、軽微な要修繕案件については、費用対効果を検討しながら施行することとしています。エコポット製作器は開所当初に購入し、現在までほぼ毎日稼働して使用頻度も高く、故障が多くみられ新規購入も考慮しなければならない時期に来ております。又、エアコンに関してはフロンガス製造中止により修繕が不可能となり、早急に代替えの冷暖設備の設置をお願いしたい。	B	今回施設内の多くの場所をLED照明化したことで、省エネ、経費の削減につなげることができています。また、老朽化が進み修繕箇所が増えている中で、利用者にとって必要な設備等の修繕を適切に実施できています。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
備品管理業務	A	コロナ感染防止の為、対策関連備品の購入(サーモマネージャー・消毒スプレースタンド)を図り出来る限りの防止策を取って対応しました。また、クッキー・ケーキの製造販売に不可欠の卓上ミキサーが経年劣化によりひび割れ等が多数発生し、これ以上使用が困難なため、対応しました。	A	老朽化したものは適宜買い替えられています。また、新型コロナウイルス感染症防止に向けた備品の積極的な購入も行われています。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	—	対象外	—	対象外
自主事業	B	施設利用者及びその保護者の方々が気軽に参加してもらえるよう利用者や関係者と相談しながら事業を計画しましたが、今年度はコロナウイルスの関係で計画していた催しは、中止又は規模を縮小しての開催となりました。施設利用者を中心に保護者、講座受講生が気軽に参加できる内容としました。また、一大イベントの「作品展示発表会」は今年はコロナの影響で近隣地域住民の参加を遠慮して頂きましたが、来年度開催出来る様であれば事前の周知を徹底し、内容を工夫して親しまれる催しとして実施していきたいと思えます。これからも利用者のニーズの把握に努め、的確・効果的な事業実施に努めます。	B	新型コロナウイルス感染症の影響があり多くの事業が中止、縮小となっています。一般の参加者がいないと交流促進の面などにおいて効果が減じてしまうため、感染症対策を徹底したうえでの開催を期待します。
地域団体との連携	B	今年はコロナウイルスの影響で、各種団体が主催する各種会合イベントに全て参加することが出来ませんでした。そんな中、今治市社会福祉協議会、すくらむハート、常盤公民館に敬老会の記念品でクッキーを、日高小学校にクッキーとパウンドケーキを買って頂き、作業所製品の販売を通じて障がい者福祉について啓発する事が出来ました。今後も地域に親しまれ気軽に利用できる施設を目指します。	C	例年、地域団体とは作品展示発表や商品販売等を通じた交流が図られていたのですが、今年度は中止等により連携が十分に図ることができていません。このような状況の中、新たな連携についても検討してください。
利用者アンケート	A	アンケートの結果から、利用者からは概ね満足していただいていると考えますが、今後も継続して利用者のニーズ把握に努め、サービス向上に取り組んでいきます。	B	アンケートからは概ね満足した回答が得られています。ただアンケート結果の公表が施設での掲示だけとなっていますので、回答いただいた方にできるだけフィードバックできるような方法を検討してください。
事故・苦情	A	のぞみ苑利用者も年齢とともに、体が動きにくくなったり周りの状況判断が出来にくくなったりしています。施設内での転倒防止策を考え利用者の事故防止を図っています。指導員は利用者から目を離すことの無い様、また、登苑・退苑のバス利用時においても細心の注意を図ることを徹底します。	A	発生した事故に対しては適切に対応、防止策の検討ができています。また、苦情や意見については、直接では言いづらいことも想定し、意見箱を設置して対応ができています。
指定管理者の経営状態			貸借対照表等については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

総合コメント(市)

障害者福祉センターとして、苑生への支援計画の立案や作業支援、趣味教養講座の実施等により障がい者の福祉を増進し、社会的自立の推進を図るための支援ができています。また、安定した事業経営を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業もある中、今後は、その様な状況を踏まえた支援内容に随時見直すことで、よりよい支援を利用者へ提供するとともに、施設を必要とする方への情報発信を積極的に行ってください。また、関係機関等と連携し、生産物の販売先確保にも努めてください。